

そのけん ニュース

討議資料

発行

自由民主党千葉県
第五選挙区支部長

前衆議院議員

そのうらけんたろう
藺浦健太郎

平成23年(2011年)
No.23-11

年 末 に 寄 せ て

早いもので、もう年末を迎えました。今年も1年間、大変お世話になりました。

政権として外交や安全保障など国家の根本にかかわる問題について、党内でコンセンサスを得る努力をしてもらいたい。そして、我々も野党だからといって、無視するのでは全くダメです。国益を考え、協力すべきは協力し、批判すべきは批判する。そうならねばなりません。

“モノ”だけの復興ではいけない

震災からの復興は、建物や道路、護岸を復旧して、「はい終わり」ではいけないと思っています。

あの震災で、日本人の持つ忍耐強さ、規範意識、譲り合いの精神。そうしたものが再確認されたのではないのでしょうか。

街のあちこちで行われていた募金活動、続々と駆けつけたボランティア。元来、我々が持っていた「助け合う」という心。自分が津波に吞まれると分かっているながら、最後まで防災無線の放送を続けていた若い女性に代表される「公」の精神。

こうした思いを取り戻す契機にしなければなりません。物質的な復興だけでなく、精神的にも、日本は復興したのだと思える復興を進めねばなりません。



前衆議院議員

そのうらけんたろう
藺浦健太郎

自由民主党千葉県
第五選挙区支部長

あだ名は小学校からずっと「そのけん」です。

地元事務所 F272-0021 千葉県市川市八幡2-16-20-203

☎047-318-1001 Fax047-336-8801

E-mail sonoura@au.wakwak.com ホームページ <http://www.sonoken.org>

二者択一の議論は正しいのか？

TPPの問題、復興、財政と社会保障。課題は山積しています。気になるのが、二者択一的な議論の多さです。財政再建を取ってみても、増税か歳出削減なのかという議論を良く耳にします。これは正しくないと思っています。

例えば、家計を考えてみても、状況を改善するためには、収入を増やす方法と、支出を切り詰める方法、どちらかではなく、両方を組み合わせてやろうとするはずです。

国家の財政も両論で対応せねばなりません。もちろん、家計と違って、税で行われてる以上、歳出削減を先に行い、しかるべき後に、負担をお願いするのが筋でしょう。

AかBかという単純な議論ではなく、30年後、50年後の国家像を考え、あらゆる方策を採る。これが本来の姿でしょう。

「そのけん」とティータイム ミニ集会をいかがですか!!

「ミニ集会」は、藺浦健太郎との懇談・意見交換を通じて、直接触れ合って頂く企画です。各地で開催してきましたが、国政に関する質問だけでなく、身近な問題やご要望など活発な意見交換が行われ、大変好評を頂いています。

- ①人数は？ 5～10人程度（もう少し多くても構いません）
- ②時間は？ 約1時間程度
- ③場所は？ 開いて頂ける方のご自宅や会社など
- ④内容は？ お茶を飲みながら、どんな話題でもOK
- ⑤準備は？ 何も必要ありません。（親しい人などを集めて頂くだけです）
- ⑥連絡は？ ご希望の日時、場所を事務所までご連絡下さい

ホームページも、是非ご覧下さい。活動日記を連日、更新しています。
